



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

美杉山荘 建設プロジェクト

墨付け・キザミ (柱)

柱は丸太をそのまま使用しますが、太さもまちまちで多かれ少なかれ曲がっています。製材された四角の柱のように基準となる平らな面もなく、大変扱い難いシロモノです。まず一本一本の材をよく観察し、使用する位置を決めます。この作業を“木取り”といい、太さや曲がりなどを考慮して、適材を適所に配置します。木取りが終われば墨付けに入りますが、曲がった材をどの向きに使うかを決め材の中心に芯墨を打ちます。差金や水準器を用いて、芯墨から対面と直角方向2ヶ所にも墨を打ち、これらの墨を基準に、ホゾや貫穴の墨を付けます。各墨の意味が分かっていると手の出せない作業で、1年生には少々荷が重かったようです。



直角確認を水準器で



丸い相手に直角線を引く技



無言で集中



電動角のみも機械の固定が大変！



正確な切断は手作業で

貫穴全部で100箇所以上

柱には4段の貫が貫通しますので、たくさんの貫穴加工が必要です。

